

## 利用企業概要

## グッドヒル株式会社 様

所在地	鳥取県鳥取市
事業内容	紳士服及び婦人服の製造販売
利用コース	「ものづくりの仕事の仕組みと生産性向上」
実施時期	令和7年7月

## 事業主の声

弊社は、主に紳士物・婦人物の注文服の製造販売を手掛けて65年の製造業です。独自開発の「セルデュースシステム」により、本社ビルにて、受注管理から、デザイン・裁断・縫製・仕上げ・配送までを一貫推進している企業です。シェアは、国内オーダースーツ生産量の25%を占めております。

時代の変化とともに、企業風土の再構築が必須であり、「生産効率化」「品質管理」「人材育成」に関して日々課題を感じておりましたところ、ポリテクセンター鳥取様の「生産性向上支援訓練」をご紹介いただきました。まずは、各部署の中堅層を対象とし、生産性全般に対する基礎的な講義を受講させていただきました。事前打ち合わせにより、弊社の現状に合わせた内容にカスタマイズしていただいたことはありがたかったです。



この訓練については、受講者からも好評を得ており、今後も計画的に人材育成を図り、生産性向上につなげていきたいと考えているところです。



現状の見える化から  
小さな改善を積み重ね  
強い現場づくりに  
取り組みます。

## 受講者の声



部品センター 山名様 組立センター 坂田様

私達は、現場（工場）の生産管理を担当しています。今回、生産性向上支援訓練「ものづくりの仕事の仕組みと生産性向上」のコースを受講させていただきました。

当社でも、従来の業務ラインに変更の必要な案件が急激に増えて、取り組みに時間がかかっており、新たな“生産性向上”は喫緊の課題だと思っています。『無駄の発見と排除の徹底が生産性向上の基本であり、その為に、工程を細分化し、現状を正しく見える化すること』が欠かせないと再認識しました。見える化によって、問題が明確になり、改善の優先順序も判断しやすくなるというお話は、自分の仕事にも応用できると感じました。講義中の「現状維持は後退である。常に改善しなければ企業は存続できない」この言葉が心に残り、小さな改善を積み重ねる姿勢こそが、強い現場作りにつながるのだと思いました。

今回、初任層から中堅層対象の研修でしたが、講習を通じて、「ものづくりの現場」では、効率を上げる工夫が常に求められていることが実感できました。自分達の業務においても仲間ともそれぞれの問題意識を共有しながら「改善の視点」を強めて仕事に向き合い、実行していきたいと考えています。